

大信寺からのお知らせ

平成18年1月30日

大信寺住職 岡田真幸
護持会会長 鯨井定義
護持会 役員一同

新春を迎え諸大徳に於かれましては如何お過ごしでしょうか。今年も皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

先日、ある方から質問されました。それは、「初詣に行った時、阿弥陀さまでない本尊に向かって念仏を唱えるのは変だと思い、手だけ合わせて済ませました。このような場合どうすればよいのでしょうか。」と。

質問を受けた私も戸惑ってしまい、その場を濁してしまいました。そこで、調べてみますと、次のようにありました。

阿弥陀さまでないご本尊のお寺であっても、ご自分の信仰する信念に従って礼拝して下さい。浄土宗信者はお数珠を持ち、合掌して小声で念仏南無阿弥陀仏と唱えるのです。同じ仏教ですから合掌礼拝して、小声で念仏すればいいのです。

法然上人は「自分の耳に聞こえる程度」の声の念仏を「高声念仏（こうしょうねんぶつ）」とおっしゃっています。本堂に響き渡るような大きな声で唱えなくてもいいのです。高声念仏は、他人には聞こえなくても仏さまにはちゃんと聞こえているのです。

合掌
住職 鳳譽真幸

作家)より、戒を授かり鵬蓮社翔譽幸寛(ほうれんじゃしょうよこうかん)と授与されました。

まだまだ大学卒業までには一年を残しております。本人も日々精進いたす所存とのございますが、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



今後の行事のお知らせ

篠塚伊賀守奉賛会開催のご案内

関東各地より篠塚伊賀守重廣公の子孫が集い、伊賀守供養を下記のとおり開催いたしますので、壇信徒の方々も是非、ご列席下されれば幸いです。
開催日 4月9日(日)

- 11時 篠塚伊賀守公 奉賛供養法要 勤修
- 12時 篠塚家什宝展見学
邑楽町図書館にて
- 12時40分 懇親会 篠塚陣屋にて

法要はご自由にご出席ください。
懇親会にご出席の場合は会費2,000円にて3月30日までに大信寺までお申込み下さい。

護持会役員会 会議報告

期日 平成18年1月22日(日)午前9時30分～
議題 平成17年度決算報告について
平成18年度護持会会費収入について
議事

平成17年度護持会決算報告及び平成18年度護持会会費収入が提出され、監査により関係書類を照合の結果、適正を認められたことの報告がありました。別紙をご参照下さい。

岡田幸寛 伝宗伝戒道場を成満

この度、大信寺住職 徒弟 岡田幸寛が12月27日、伝宗伝戒道場(でんしゅうでんかいどうじょう)を無事に成満(じょうまん)することができました。これもひとえに阿弥陀さま、そして皆さまのお陰と心より感謝申し上げます。

なお、増上寺には、74名入山し、73名(尼僧17名)が成満式を迎え、その間、5300回の礼拝を修行しました。

また、成田有恒 台下(寺内大吉として直木賞

郷土の豪傑 篠塚伊賀守と 篠塚家伝来の什宝展 開催

下記のとおり開催いたしますので、是非、足をお運び下さい。

4月7日(金)～16日(日)10～18時
ただし、10日(月)休館

邑楽町立図書館 展示コーナー

最近の行事報告

増上寺 成満会に28名参加

昨年12月27日、岡田幸寛の伝宗伝戒道場成満会に28名の参加をいただきました。

早朝、バスにて東京 増上寺へ出発、9時半から11時まで大殿にて成満会参列。その後、築地にて昼食後、場外市場を散策いたしました。

修行僧たちの修行が終了できた喜びと一回り成長した姿が印象的でした。



除夜の鐘に大勢の檀信徒

昨12月31日午後11時10分から除夜の鐘を突き始め、新年12時10分に108回となりました。善男善女約70名が交代で突き、煩惱を振り払い、その後、甘酒で暖をとりました。

紅白終了後から大勢の参詣があり、結局、120回ほど突いてしまいました。

おうら七福神めぐり 大信寺の布袋

「おうら七福神めぐり」が、昨年に引き続き1月7日(土)と14日(土)に開催され、合計90数名の篤信・健脚の信者が23kmのコースを巡りました。

布袋尊を祭る大信寺は最初の参拝地であり、本堂で住職の説明を聞きながら布袋尊の頭をなで、元気に次の長柄神社へ向いました。

いつもお迎えだけでは物足りないので7日には、大信寺住職の私と弟の岡田真晴も一緒に歩いてみました。確かに参加者は健脚揃いで置いて行かれそうになりながら寒風吹きすさぶ田圃道を進み、各寺院ではお茶や甘酒のご接待を受けました。

随所でご一緒した長柄公民館 大塚館長の解説があり、郷土の歴史・文化・自然に触れた一日でした。主催者の鈴木隆行氏、松崎宏昭氏に感謝申し上げます。次回は、4月8日(土)開催です。

<<住職雑感>>

もうすぐ大信寺創建400年

現在、大信寺のパンフレットを作成のため歴史や沿革を調査中です。邑楽町誌では、天平宝字元年(757)寺伝によると天台宗上野の講師勝道上人が光善寺林(当寺から東南700m)に草庵を結んで修業し、光善精舎と号してこの地方の仏教教化につとめたという。(邑楽郡誌には宝亀年中(770~781)とある。)

弘仁2年(811)3月 勝道上人日光登参の途中、光善精舎に参籠して霊夢と感じ、自ら薬師如来像を彫って曲松(当寺から南南東600m)の地に薬師堂を建立して厄除けを祈願したといわれる。暦応年中(1338~1342) 篠塚伊賀守重廣菩提のため大信寺としたという。

天正18年(1590) 小泉城落城の狼煙として灰燼に帰し、曲松の東方に寺林の地名だけが残ったという。

慶長19年(1614) 白髻萬覚上人の開基で浄土宗に改宗し、寛永年中、太田大光院の末寺となり寺運の隆盛をみた。

大正7年(1932) 本堂再建を約して解体したまま、現在の庫裏を仮本堂としていた。とあります。

光善寺林は町議会議員 青木 久氏宅付近に当たり、確かに当寺の旧来の檀家(大黒、大林、寺中、曲松)の距離的中心がこの地となり、うなずけます。

なお、光善寺林は現在の光善寺と無関係です。

寺院として整備されたのは歴代住職の記録がある1614年からでしょう。すると、あと8年で創建400年となります。

記念にDaishinji Since 1614とロゴ入りのTシャツの制作も考えています。

1702年没の墓碑

一昨年、ある檀家さんが墓地を改修するので、私が古い墓碑を調査してみましようかと提案。そこで、施主、お孫さん3人と住職で拓本と取りながら、半日かけて過去帳と照らし合わせたところ26名のご先祖が判明し、最古は元禄15年(1702)年没でした。

このお檀家さんと大信寺の長い歴史の一端を垣間見た一時でした。

古い墓碑の調査を希望でしたら、是非ご相談下さい。